

農林水産商工常任委員会資料

(令和5年8月21日)

項 目	ページ
■ 株式会社ジャパンディスプレイ鳥取工場の動向と対応状況等について 【立地戦略課】…………	2
■ 県内技術・素材を実装したEVの実験走行開始について 【産業未来創造課】…………	4
■ 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について 【産業人材課】…………	6

商 工 労 働 部

株式会社ジャパンディスプレイ鳥取工場の動向と対応状況等について

令和5年8月21日
立地戦略課

(株)ジャパンディスプレイは8月2日(水)に「鳥取工場におけるパネル生産終了及び戦略拠点としての事業継続」を発表しましたが、その後の対応等について以下のとおりご報告いたします。

1 (株)ジャパンディスプレイの発表概要

- ・鳥取工場で生産する液晶パネルは、古い世代の中小型液晶パネルであり、高性能化への対応が限定的で、大型化が進む車載分野における新規需要は減少傾向にある。
- ・お客様ニーズへの対応と、競争力強化と収益力向上策の一環として、鳥取工場における液晶パネル生産を、令和7年3月に終了する。
- ・生産終了後は、戦略拠点として事業継続し、AutoTech(車載)事業部の開発、設計、品質保証等の機能を維持し、車載事業の更なる拡大・発展に向けた活動を展開する。
- ・従業員については、雇用を維持し、同拠点内または他拠点への配置転換等を予定している。

2 県と鳥取市による情報連絡会議

- (1) 開催日時 令和5年8月3日(木) 午後3時50分～午後4時10分
- (2) 開催場所 県庁本庁舎3階 第4応接室
- (3) 参加者 [県] 平井知事、池田商工労働部長、荒田雇用人材局長
[市] 深澤市長、大野経済観光部長

(4) 概要

情報を共有するとともに、当面、以下の事項について取り組んでいくことを確認した。

- ・同社に対して、速やかに要望を実施する。
- ・同社の動きを注視し、従業員等に対する必要な支援を適宜実施する。

3 同社への要望概要

- (1) 要望日時 令和5年8月7日(月) 午後1時～午後1時15分
- (2) 要望場所 株式会社ジャパンディスプレイ本社応接室
(東京都港区西新橋三丁目7番1号)
- (3) 要望先 代表執行役会長CEO スコット キャロン
- (4) 要望者 鳥取県知事 平井 伸治、鳥取市長 深澤 義彦
- (5) 要望事項 (要望書は次頁に添付)



1. 鳥取工場を貴社の車載用及び独自技術を活用したディスプレイ製品の企画開発・設計等の拠点として活用され、引き続き事業活動の拠点として維持していただくこと。
2. 従業員及び地域の不安解消に特段の配慮を賜るとともに、鳥取工場の貴重な人材が流出することがないように、最大限、雇用を守っていただくこと。
3. 土地・建物の利活用について、将来につながる新たな事業での活用や他社との協業など鳥取工場の発展に向けた取り組みを積極的に進めていただくこと。

(6) 要望結果概要

- ・スコット キャロンCEOから「要望に応えられるよう最善・最大限の努力をする」と回答があった。
- ・話し合いのパイプを作ることを三者で確認し、今後コミュニケーションを取りながら未来の発展のために協力していくことが話し合われた。

4 今後の対応

同社の動きに注視しつつ、三者でコミュニケーションを取りながら連携し、要望事項(県内拠点の維持、雇用への配慮、工場敷地の有効活用等)を中心に機動的に対応してまいります。

【ジャパンディスプレイの概要】

- (1) 会社名 株式会社ジャパンディスプレイ
- (2) 代表者 代表執行役会長CEO スコット キャロン
- (3) 所在地 東京都港区西新橋三丁目7番1号
- (4) 事業開始 平成24年4月1日
※平成23年、国内3社(日立・東芝・ソニー)の液晶部門が統合して誕生。
- (5) 事業内容 ディスプレイデバイス及びその関連製品の研究、開発、製造、販売等
- (6) 従業員 4,776名(連結、令和5年3月31日現在)
- (7) 生産拠点 [国内] 鳥取、茂原(千葉県)、石川(石川県) [海外] フィリピン

【鳥取工場の概要】

- (1) 所在地 鳥取市南吉方3丁目117-2
- (2) 従業員 499人(令和5年8月1日時点)
- (3) その他 鳥取工場は、車載用ディスプレイ事業の開発、車載製品製造の主力拠点。

要 望 書

株式会社ジャパンディスプレイ
代表執行役会長CEO スコット キャロン 様

8月2日、貴社は令和7年3月31日をもって鳥取工場における液晶ディスプレイ生産の終了方針を発表されました。

長年にわたり、鳥取市を車載用液晶ディスプレイの拠点として発展を続けていただけたに、地元関係者も今後の行方に不安を抱いております。

鳥取工場は平成24年の事業開始以来、車載用液晶ディスプレイ関連等の開発・生産拠点工場として、優れた技術を元にした精度の高い製品を世界の自動車メーカーに出荷するとともに、約500名の方が働く県内経済にとって非常に重要な工場であります。

発表では、鳥取工場の従業員は雇用維持を前提として、引き続き戦略拠点として事業継続される鳥取工場内又は他の拠点への配置転換等を予定されるとのことですが、当県としましては、鳥取工場が引き続き貴社の事業活動の拠点として最大限活用していただくよう強くお願いをさせていただくものです。

つきましては、下記の事項についてご配慮くださいますようお願いいたします。

記

- 1 鳥取工場を貴社の車載用及び独自技術を活用したディスプレイ製品の企画開発・設計等の拠点として活用され、引き続き事業活動の拠点として維持していただくこと。
- 2 従業員及び地域の不安解消に特段の配慮を賜るとともに、鳥取工場の貴重な人材が流出することがないように、最大限、雇用を守っていただくこと。
- 3 土地・建物の利活用について、将来につながる新たな事業での活用や他社との協業など鳥取工場の発展に向けた取り組みを積極的に進めていただくこと。

令和5年8月7日

鳥取県知事 平 井 伸 治

鳥取市長 深 澤 義 彦

県内技術・素材を実装したEVの実験走行開始について

令和5年8月21日
産業未来創造課

本県では、国内外で加速しているEVシフトに対応し、県内サプライヤー企業のEV等エコカー技術市場への参入を支援するための取組として構築した「EV実装評価プラットフォーム」において、7月31日に実験走行を開始しました。県内企業が開発した技術・素材・部材を実装したEVの実験走行により、技術評価・ユーザー評価を行い、さらなる技術開発に向けて、県内企業へ還元していきます。

1 県内技術・素材を実装したEVの実験走行開始式

(1) 開催日時 令和5年7月31日(月) 午後4時30分～4時50分

(2) セレモニー内容

- ・事業の概要説明
- ・県内企業6社の代表(NOK(株)鷲尾副部長)による決意表明
- ・支援機関の代表(産総研藤代部門長)の挨拶
- ・テープカット
- ・脱炭素型EVステーション及びワイヤレス充電システムの説明(株)ダイヘン鶴田技術統括)
- ・試乗(知事)

【参加サプライヤー企業】6社

NOK(株)、ダイヘン産業機器(株)、(株)中原商店、(株)菊水フォーシング、(株)伯耆のきのこ、(株)鳥取スター電機

【協力企業・団体】7社

(国研)産業技術総合研究所、中国経済産業局、中国運輸局、(株)ダイヘン、(株)タジマモーターコーポレーション、智頭石油(株)、(地独)鳥取県産業技術センター



テープカット



脱炭素型EVステーション等の説明



知事の実験車両の試乗

2 「EV実装評価プラットフォーム」の概要

- エコカーWG(46社)が技術開発しているデバイスや素材等を随時実装しメーカー等による技術評価やユーザー評価を行い、県内サプライヤーに還元し、更なる改良・開発に結び付ける仕組み。
- 実験走行は、今後約2年かけて、県内製造業や大学等に巡回設置して、事業所社員や学生等のより多くのユーザー評価や提案を還元する。

(1) 県内サプライヤー6社の概要

サプライヤー企業	試作品	実証研究の内容
NOK(株)	EV用の防振ゴム	EVの室内空間に求められている静寂性について、モータ部分など防振ゴムにより低減
ダイヘン産業機器(株)	非接触充電システム	現行のプラグイン方式に加え、未来を見据えたワイヤレス充電システム
(株)菊水フォーシング	マグネシウム鍛造	EVの軽量化に対応して、マグネシウムを足回り部分などに適用
(株)鳥取スター電機	エコカー向けドライブレコーダー	盗難防止機能などドラレコの高機能化に向けてEV車両側の必要な電流量などの適用性
(株)伯耆のきのこ	きのこ素材による内装材	欧米で加速しているSDGsを意識した天然素材によるインテリア
(株)中原商店	因州和紙による加飾	〃

(2) 本プロジェクトの協力企業の役割

【(株)タジマモーターコーポレーション】※自動車メーカー

国内で唯一のEV改造メーカーである同社の超小型EV(2人乗り)を実験車両として活用。また、県内サプライヤーの試作品の実装・改造・技術評価も同社が担う。

【智頭石油(株)】

EVの貸出業務など運用全般(保守・メンテナンスも含む)やEVステーションの運用管理を行う。また、EVの利用者に対するヒアリング(乗り心地や使用感等)を実施。

【(株)ダイヘン】

当該プロジェクトに必要な充電設備などについて、商用化している脱炭素型EVステーション2基を無償貸与。

【(国研)産業技術総合研究所】

新素材加工技術習得に取り組む県内企業に対し、現場指導を実施する。

【(地独)鳥取県産業技術センター】

試作品の引っ張り試験、強度試験、耐食試験等の材質評価(母材そのものの評価)を実施。

3 今後の取組

今回は第1段階として、サプライヤー6社の試作品を実装したが、今後も実装する試作品を増やしていく。このため、エコカーWG46社に呼びかけ、新技術の実装を希望する県内サプライヤーを随時、受付。

EV実装評価プラットフォーム

県内新技術・素材を実装し評価可能な仕組みが完成！



県内技術の実装概要 (第1段階)

県内製造業の新技術を実装し
 評価し課題を探索

県内製造業の部材・電装品
 を実装し、県内技術をPR



一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【新規分】

商工労働部

主 務 課	工 事 名	工事場所	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額	工 期	契 約 年 月 日	摘 要
産業人材課	鳥取県立産業人材育成センター 米子校バリアフリー化工事(建築)	米子市 夜見町	株式会社平田組 代表取締役 平田 淳	115,500,000円 (予定価格) 118,690,000円	令和5年6月19日 ～ 令和6年2月29日	令和5年6月16日	制限付 一般競争入札 (4社)